

カザフスタン共和国

Republic of Kazakhstan

	2015年	2016年	2017年
①人口：1,816万人（2018年1月1日）			
②面積：272万4,900km ²			
③1人あたりGDP：8,841米ドル (2017年)			
④実質GDP成長率 (%)	1.2	1.1	4.0
⑤消費者物価上昇率 (%)	13.6	8.5	7.1
⑥失業率 (%)	5.1	5.0	4.9
⑦貿易収支 (100万米ドル)	12,671	9,193	17,444
⑧経常収支 (100万米ドル)	△5,135	△8,874	△5,353
⑨外貨準備高 (100万米ドル)	20,295	20,096	18,249
⑩対外債務残高 (グロス) (100万米ドル)	153,422	163,632	167,485
⑪為替レート (1米ドルにつき、 テング、期中平均)	221.73	342.16	326.00

【注】③：推計値、⑤：各年12月の前年同月比、⑦：国際収支ベース（財のみ）
【出所】①②④～⑥カザフスタン国民経済省統計委員会、③⑨⑩IMF、⑦⑧⑪カザフスタン中央銀行

2017年のカザフスタンの実質GDP成長は4%となった。原油の増産と原油価格の上昇、主要輸出相手国の経済回復などによる輸出拡大（前年比31.6%増）が牽引した。インフレも沈静化に向かっている。2018年は、引き続き原油価格が安定的に推移し増産も続いていることから、政府は4%、国際金融機関も3～4%の成長を予測している。

■ 輸出拡大により4%の成長

カザフスタン国民経済省統計委員会によると2017年の実質GDP成長率は4.0%となり、2014年から続いていた経済成長の鈍化に歯止めがかかった。

鉱物資源の輸出に依存するカザフスタン経済は、原油価格の低迷、設備の老朽化による原油採掘量の低下、主要輸出相手国の経済の低調などにより輸出が停滞し、実質GDP成長率は2013年の6.0%から2016年は1.1%まで鈍化していた。しかし、①2016年10月にカスピ海北部・カシャガン油田から3年ぶりに原油輸出が再開されたこと、②2016年から上昇基調に転じた原油価格が2017年に入り一層加速したこと、③ロシアなど主要輸出相手国の経済が回復したことなどから、輸出が前年比31.6%増と大幅に回復、経済成長の原動力になった。

2015年に13.6%だった消費者物価上昇率は2017年には7.1%と安定傾向にある。2016年から続く「非ドル化」¹の流れが継続したことが奏功した。一方で、インフレ再燃の懸念もあることから中銀は慎重な金利操作を行っており、2018年末のインフレ目標値を5～7%として、6月以降9月時点の政策金利を9.00%としている。

2018年に入っても原油価格の上昇や原油生産増加などが続いており、政府は実質GDP成長率を4.0%、インフ

レ率を6.2%と予測（2018年6月時点）。国際金融機関も同様の見通しを示し、実質GDP成長率を、国際通貨基金（IMF）とアジア開発銀行（ADB）は3.2%（共に2018年4月）、世界銀行（WB）は3.7%、欧州開発復興銀行（EBRD）は3.9%（共に2018年5月）と予測している。

■ 輸出は3割増、資源採掘への投資が拡大

統計委員会によれば、カザフスタンの2017年の輸出は前年比31.6%増の483億4,200万ドル。輸入は15.5%増の293億500万ドルであった。輸出では原油を中心とする鉱物製品（燃料・エネルギー製品を含む）が約7割、卑金属・同製品が2割を占める。鉱物製品は前年比38.7%増、卑金属・同製品が41.7%増となった。

最大の輸出先はイタリアで、前年比15.9%増の86億6,900万ドル。オランダ、スイス、フランス、スペインへの輸出も大幅に伸びたが、いずれも主要輸出品目は原油で、輸出額の95%以上を占めている。2位の中国への輸出も37.6%増となった。大幅増の要因は、銅・同製品が28.3%増（構成比19.2%）、鉱石（約9割は銅鉱石）が139.1%増（構成比18.5%）、ウラン24.2%増（同17.8%）、鉄鋼46.5%増（同15.2%）となったためだ。対ロシアでは卑金属・同製品が76.1%増（構成比37.2%）、鉱物製品は36.9%増（構成比も36.9%）だった。

輸入は、輸送機器を含む機械類・電気機器が約4割を占める。2017年、最大の輸入相手国であるロシアは前年比23.5%増の114億7,292万ドルで、自動車・機械機器が前年比21.3%増（構成比25.5%）、石油製品（軽質油）が27.0%増（同16.7%）、化学品が20.5%増（同16.1%）、卑

¹ 2015年8月の変動相場移行後、通貨テングの対ドル・レートが急速に悪化、国民のドル預金が増加し、2016年1月にはドル預金比率は80%を超えた。これに対し中銀は2016年2月に「非ドル化政策」を打ち出し、インフレ率の上昇分を補いテング預金の魅力を高めるとして預金金利の上限をテング建ては10%から14%に、ドル建ては3%から2%にした。その結果2018年6月にはテング建て預金比率が53.1%にまで回復した。

金属・同製品が44.2%増（同15.0%）だった。中国からの輸入も前年比27.9%増の46億9,200万ドルと大幅に増加。その要因は自動データ処理機械や電話機（携帯電話を含む）が前年比50.0%増となったためだ。

中央銀行によると、2017年の対内直接投資（グロス、フロー）は前年比0.9%減の207億6,500万ドルだった。最大の投資国オランダは前年比24.3%減の59億9,800万ドル、2位は米国で8.4%増の37億1,200万ドル。大幅に投資額が伸びたのはロシアで42.0%増の12億3,100万ドル、ベルギーが47.5%増の10億4,900万ドルとなった。

分野別では、「原油・天然ガス採掘」が前年比66.0%増の95億490万ドル（投資総額の45.8%）、「卑金属・同製品」が前年比27.4%増の45億1,990万ドル（投資総額の21.8%）だった。一方、資源探査への投資は2016年の47億ドルから2億ドルへと大幅に減少した。

カザフスタンは外国からの投資誘致強化のため、それまで輸出促進機能も有していた「カズネクスインベスト」を2017年3月に改組、投資家向けの統一的な窓口となる「カザフィンベスト」を設立した。同国は2011年にOECDへの加盟希望を正式に表明して以来、OECD基準に従って、会社設立手続きや建設許可の簡素化、小規模投資家の保護、通関手続きの簡素化など投資環境の向上を図っている。世界銀行のDoing Businessではビジネスのしやすさの順位を77位（2014年版）から36位（2017年版）としている。

■対日貿易は輸出入とも に拡大

日本側貿易統計によると、2017年の対カザフスタン輸出は前年比42.3%増の2億7,390万ドル、輸入は118.2%増の12億5,748万ドルだった。輸出増加の主因は、最大の輸出品目・乗用車が30.4%増の1億6,075万ドル（構成比58.7%）となり、建設用・鉱山用機械が491.4%増の3,109万ドル（構成比11.3%）となったことである。輸入では、鉄鋼が前年比54.2%増の6億4,183万ドル（構成比51.0%）、原油および粗油が前年比321.1%増の5億4,723万ドル（構成比43.5%）となった。

2017年10月には東京で日本カザフスタン・ビジネスフォーラムが開催された。「カザフスタンの投資政策と地方における投資機会」というテーマの下にカザフスタンからは中央・地方政府関係者、投資誘致機関、民間企業などから約80名が来日、カザフスタンへのビジネス展開を呼び掛けた。

表1 カザフスタンの主要国別輸出入（通関ベース）

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）			
	2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率
イタリア	7,482	8,669	17.9	15.9
中国	4,228	5,778	12.0	36.7
オランダ	3,256	4,748	9.8	45.8
ロシア	3,445	4,515	9.3	31.1
スイス	2,443	3,101	6.4	26.9
フランス	1,792	2,861	5.9	59.7
スペイン	989	1,444	3.0	46.0
トルコ	851	1,146	2.4	34.7
韓国	224	1,128	2.3	403.6
ギリシャ	871	964	2.0	10.7
日本	559	886	1.8	58.5
合計（その他含む）	36,737	48,342	100.0	31.6
	輸入（CIF）			
	2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率
ロシア	9,288	11,473	39.2	23.5
中国	3,668	4,692	16.0	27.9
ドイツ	1,443	1,484	5.1	2.8
米国	1,270	1,244	4.2	△2.0
イタリア	836	945	3.2	13.0
ウズベキスタン	800	735	2.5	△8.1
トルコ	618	730	2.5	18.1
韓国	453	567	1.9	25.2
フランス	661	535	1.8	△19.1
日本	553	414	1.4	△25.1
英国	372	359	1.2	△3.5
合計（その他含む）	25,377	29,305	100.0	15.5

〔出所〕カザフスタン国民経済省統計委員会

表2 カザフスタンの主要品目別輸出入<通関ベース>

（単位：100万ドル、%）

	輸出（FOB）				輸入（CIF）			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食料品・同原材料	2,150	2,378	4.9	10.6	3,081	3,420	11.7	11.0
鉱物製品（燃料・エネルギー製品含む）	23,891	33,145	68.6	38.7	2,303	2,740	9.3	19.0
化学製品（ゴム・プラスチック含む）	2,641	2,477	5.1	△6.2	4,050	4,899	16.7	21.0
卑金属・同製品	6,163	8,730	18.1	41.7	3,169	3,415	11.7	7.8
機械・設備・輸送機器・電気機器	719	648	1.3	△9.9	9,606	11,043	37.7	15.0
合計（その他含む）	36,737	48,342	100.0	31.6	25,377	29,305	100.0	15.5

〔出所〕カザフスタン国民経済省統計委員会

表3 カザフスタンの主要国別対内直接投資
<実行ベース、グロス、フロー>

（単位：100万ドル、%）

	2016年	2017年	伸び率
オランダ	7,920	5,998	△24.3
米国	3,423	3,712	8.4
スイス	2,697	2,935	8.8
ロシア	867	1,231	42.0
ベルギー	711	1,049	47.5
中国	962	999	3.8
フランス	1,136	804	△29.2
英国	685	602	△12.1
韓国	366	449	22.7
バミュータ諸島	47	448	853.2
日本	470	357	△24.0
合計（その他含む）	20,949	20,765	△0.9

〔出所〕カザフスタン中央銀行